平成25年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年8月9日

上場会社名　株式会社 ティア　　上場取引所　東 名
コード番号　2485　URL　http://www.tear.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 冨安　徳久
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長　(氏名) 山本　克己　TEL 052-918-8254

四半期報告書提出予定日　平成25年8月12日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第3四半期の業績(平成24年10月1日～平成25年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第3四半期	6,723	7.0	780	4.5	702	1.2	429	9.5
24年9月期第3四半期	6,284	5.1	746	28.2	694	31.5	392	41.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第3四半期	94.35	―
24年9月期第3四半期	86.14	―

(注)平成25年1月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いましたが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年9月期第3四半期	8,501	2,785	32.8
24年9月期	8,079	2,435	30.1

(参考) 自己資本　25年9月期第3四半期　2,785百万円　24年9月期　2,435百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	―	0.00	―	35.00	35.00
25年9月期	―	0.00	―		
25年9月期(予想)				20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　有

(注)平成25年1月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いましたが、平成24年9月期の期末配当金については、当該株式分割前の実績を記載しております。
(注)平成24年9月期期末配当金の内訳　普通配当 30円00銭　創業15周年記念配当 5円00銭
(注)配当予想の修正については、本日(平成25年8月9日)公表いたしました「配当予想の修正(記念配当)に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成25年 9月期の業績予想(平成24年10月 1日～平成25年 9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,130	9.3	915	5.3	820	2.7	490	17.0	107.55

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

(注)平成25年1月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。このため、平成25年9月期の業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 有
④ 修正再表示 ： 無

（注）詳細は、添付資料P3.「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 （2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年9月期3Q	4,556,000 株	24年9月期	4,556,000 株
② 期末自己株式数	25年9月期3Q	321 株	24年9月期	242 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年9月期3Q	4,555,708 株	24年9月期3Q	4,555,835 株

（注）平成25年1月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いましたが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。
2. 当社は、平成25年1月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり情報の各金額は、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して算出しております。

平成25年1月1日付株式分割前の当社発行済株式総数 2,278,000株
平成25年1月1日付の株式分割により増加した株式総数 2,278,000株
平成25年1月1日付株式分割後の当社発行済株式総数 4,556,000株

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
第３四半期累計期間 …… 6
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 7
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 7
（５）セグメント情報等 …… 7
（６）重要な後発事象 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第３四半期累計期間におけるわが国経済は、底堅く推移する個人消費に加え、輸出や生産活動の改善により、緩やかではありますが持ち直しの傾向となりました。また、景気の先行きにつきましては、金融緩和や経済対策等の効果により、回復基調は持続するものと見られております。しかしながら、金融市場の動向や海外経済の成長力等の不確実性により、先行きに対する不透明感は拭えない状況です。

葬儀業界におきましては、葬儀に関する潜在的需要は約30年間にわたり年々逓増すると推計されており、直近の葬儀件数につきましても増加傾向で推移いたしました。一方、葬儀単価におきましては、核家族化や葬祭規模の縮小等により減少傾向が続いております。また、都市部を中心に高齢化が急速に進行していることもあり、人生の終末や死別後の事前準備を担う葬儀業界への関心は今まで以上に高まるものと予想されます。

かかる環境下、当社は顧客満足度の向上を図るべく「明瞭な価格体系による葬儀費用の明確化」「徹底した人財教育によるサービスの向上」「ドミナント出店による利便性の向上」を戦略の基本方針とし、直営・フランチャイズ出店による徹底した差別化戦略を展開しております。

当第３四半期累計期間におきましては、戦略の基本方針のブラッシュアップを図るべく、「新生ティア」をスローガンに掲げ、新たな課題に対応した６項目の戦略テーマを推進してまいりました。新規会館の開設につきましては、直営会館として大阪府大東市に「ティア大東」、愛知県春日井市に「ティア味美」を開設したのに加え、フランチャイズの会館を１店舗開設し、これにより直営35店舗、フランチャイズ30店舗の合計65店舗となりました。また、既存会館におきまして、葬儀ニーズの多様化に対応するために「ティア甚目寺」の改修工事を行い、小規模葬儀に対応した設備を増設いたしました。経費面では、商品改革の一環として、葬儀付帯品を一括で会館に配送する物流センターを稼働したのに加え、仕入価格の見直しを実施いたしました。また、今後の会館開設を見据えた積極的な人材確保にも務めてまいりました。

この結果、売上高は67億23百万円（前年同期比7.0％増）となり、売上原価率は前年同期と比べ0.7ポイント低下し、販管費率は1.0ポイント上昇いたしました。これにより、営業利益は７億80百万円（同4.5％増）、経常利益では７億２百万円（同1.2％増）、四半期純利益は４億29百万円（同9.5％増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(a) 葬祭事業

当第３四半期累計期間におきましては、「ティアの会」会員数の拡大を図るべく、各種会館イベントや提携団体・企業向けの営業活動に加え、提携店で特典サービスが受けられる「会員向け優待サービス」を開始いたしました。また、堅調に推移する既存会館に加え、前事業年度に開設した会館の通年稼働により、葬儀件数は5,192件（同7.6％増）と順調に増加いたしました。葬儀単価におきましては、葬儀付帯品の取扱いは減少したものの、葬儀の受注を担当する葬儀アドバイザーの増員等により、前年同期と同水準を確保いたしました。この結果、売上高は65億62百万円（同6.4％増）、営業利益は12億６百万円（同11.9％増）となりました。

(b) フランチャイズ事業

当第３四半期累計期間におきましては、新規クライアントの開発並びに出店候補地の確保を強化するために組織体制の見直しを行いました。また、フランチャイズの会館が前年同期と比べ１店舗増加し、これによりロイヤリティ収入が順調に増加したのに加え、会館向けの物品販売が増加いたしました。この結果、売上高は１億60百万円（同37.0％増）、営業利益は26百万円（同43.0％減）となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第３四半期会計期間末における流動資産は15億33百万円となり、前事業年度末に比べ５百万円増加いたしました。これは主に売掛金が12百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は69億67百万円となり、前事業年度末に比べ４億16百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が２億28百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、85億１百万円となり、前事業年度末に比べ４億22百万円増加いたしました。

（負債）

当第３四半期会計期間末における流動負債は21億87百万円となり、前事業年度末に比べ91百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が１億44百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は35億27百万円となり、前事業年度末に比べ１億63百万円増加いたしました。これは主にその他の固定負債が２億54百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、57億15百万円となり、前事業年度末に比べ72百万円増加いたしました。

（純資産）

当第３四半期会計期間末における純資産合計は27億85百万円となり、前事業年度末に比べ３億50百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益４億29百万円及び剰余金の配当79百万円があったこと等によるものであります。

（３）業績予想に関する定性的情報

平成24年11月12日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

なお、配当予想につきましては、平成25年９月期の期末配当金について、１株当たり２円50銭の「東証上場記念配当」を実施させて頂くことを、平成25年８月９日開催の取締役会にて決議いたしました。この結果、平成25年９月期の１株当たり期末配当金は、普通配当17円50銭に記念配当２円50銭を加え、合計20円となる見込みであります。

また同日付で、当社株式の流動性の向上と投資家層の一層の拡大を図ることを目的に、平成25年10月１日を効力発生日として、普通株式１株につき、２株の割合をもって株式分割を行うことも決議しております。平成25年９月期の期末配当金につきましては、配当基準日が平成25年９月30日となりますので、株式分割前の株式が対象となります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

法人税法の改正に伴い、第１四半期会計期間より、平成24年10月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第３四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益への影響は軽微であります。

３．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年９月30日）	当第３四半期会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,138,201	1,134,399
売掛金	177,311	190,073
商品	19,311	23,352
その他	199,375	194,250
貸倒引当金	△5,798	△8,482
流動資産合計	1,528,401	1,533,593
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,517,023	3,485,126
土地	1,287,418	1,291,021
その他（純額）	420,339	676,637
有形固定資産合計	5,224,782	5,452,784
無形固定資産	172,560	136,615
投資その他の資産		
差入保証金	913,973	1,084,576
その他	279,330	333,636
貸倒引当金	△40,000	△40,000
投資その他の資産合計	1,153,303	1,378,212
固定資産合計	6,550,646	6,967,613
資産合計	8,079,048	8,501,206
負債の部		
流動負債		
買掛金	305,225	279,092
短期借入金	73,668	216,667
1年内返済予定の長期借入金	1,195,424	1,203,595
未払法人税等	218,500	74,500
賞与引当金	73,393	42,392
その他	413,247	371,674
流動負債合計	2,279,457	2,187,921
固定負債		
長期借入金	3,067,886	2,958,235
資産除去債務	169,345	188,240
その他	126,768	381,168
固定負債合計	3,364,000	3,527,644
負債合計	5,643,458	5,715,565

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年９月30日）	当第３四半期会計期間 （平成25年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	580,750	580,750
資本剰余金	214,250	214,250
利益剰余金	1,640,757	1,990,877
自己株式	△185	△272
株主資本合計	2,435,572	2,785,604
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	17	36
評価・換算差額等合計	17	36
純資産合計	2,435,589	2,785,641
負債純資産合計	8,079,048	8,501,206

（２）四半期損益計算書
（第３四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期累計期間 （自　平成23年10月１日 至　平成24年６月30日）	当第３四半期累計期間 （自　平成24年10月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	6,284,377	6,723,176
売上原価	4,126,891	4,364,854
売上総利益	2,157,485	2,358,322
販売費及び一般管理費	1,410,906	1,578,153
営業利益	746,578	780,168
営業外収益		
受取利息	4,478	4,654
その他	7,298	12,558
営業外収益合計	11,776	17,213
営業外費用		
支払利息	60,546	57,501
株式公開費用	2,700	36,925
その他	517	297
営業外費用合計	63,763	94,724
経常利益	694,591	702,656
特別利益		
固定資産売却益	－	46
特別利益合計	－	46
特別損失		
固定資産除売却損	3,966	839
特別損失合計	3,966	839
税引前四半期純利益	690,624	701,863
法人税、住民税及び事業税	277,020	249,626
法人税等調整額	21,148	22,391
法人税等合計	298,168	272,018
四半期純利益	392,455	429,845

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
Ⅰ　前第３四半期累計期間（自　平成23年10月１日　至　平成24年６月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期損益計算書計上額（注）２
	葬祭事業	フランチャイズ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,166,912	117,464	6,284,377	－	6,284,377
計	6,166,912	117,464	6,284,377	－	6,284,377
セグメント利益	1,077,754	46,556	1,124,311	△377,732	746,578

（注）１．セグメント利益の調整額△377,732千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
２．セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期累計期間（自　平成24年10月１日　至　平成25年６月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期損益計算書計上額（注）２
	葬祭事業	フランチャイズ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,562,251	160,924	6,723,176	－	6,723,176
計	6,562,251	160,924	6,723,176	－	6,723,176
セグメント利益	1,206,432	26,530	1,232,963	△452,795	780,168

（注）１．セグメント利益の調整額△452,795千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
２．セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。
３．「会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更」に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第１四半期会計期間より、平成24年10月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。
これによる当第３四半期累計期間のセグメント利益への影響は軽微であります。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（６）重要な後発事象

平成25年８月９日開催の取締役会において、以下のとおり、株式の分割を決議いたしました。

(1) 株式分割の目的

当社株式の流動性の向上と投資家層の一層の拡大を図るためであります。

(2) 株式分割の概要

平成25年９月30日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有普通株式１株につき、２株の割合をもって分割いたします。

(3) 株式分割により増加する株式数（平成25年８月９日現在の発行済株式総数にて算出）

普通株式　4,556,000株

(4) 効力発生日

平成25年10月１日

(5) １株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定した場合の１株当たり情報は、以下のとおりであります。

	前第３四半期累計期間 （自　平成23年10月１日 至　平成24年６月30日）	当第３四半期累計期間 （自　平成24年10月１日 至　平成25年６月30日）
１株当たり四半期純利益金額	43円07銭	47円18銭

（注）潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。